

24日 日曜

IIコリント

9:10 蒂く人に種と食べるパンを備えてくださる方は、あなたがたにも蒂く種を備え、それをふやし、あなたがたの義の実を増し加えてくださいます。

9:11 あなたがたは、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになります。それが私たちを通して、神への感謝を生み出します。

9:12 なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになります。

9:13 このわざを証拠として、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、彼らに、またすべての人々に惜しみなく与えていることを知って、神をあがめることでしょう。

9:14 また彼らは、あなたがたのために祈るとき、あなたがたに与えられた絶大な神の恵みのゆえに、あなたがたを慕うようになります。

9:15 ことばに表わせないほどの賜物のゆえに、神に感謝します。

献金という奉仕は、与える側も受ける側も恵に満ち溢れるものです。ともに神様のためにささげ、神様のためにそれを用いるからです。パウロは献金はそのような靈的な祝福であることを教えます。

「この人は散らして、貧しい人々に与えた。」といふのはイエス様のことです。神の国の価値観では、この世と違い、たくさん集めて所有している者が称賛されたり羨ましがられたりするのではなく、たくさん散らして自分のためには所有していない人が、称賛され羨ましがられるのです。

「散らす」といっても無駄にするのではなく、「貧しい人に」とあるように、誰かの必要を満たす



Bible Reference
聖書の記述

ために与えるのです。そのような人に、神様は「種と食べるパンを備えてくださる」のですから、安心して与えたいと思います。

また献金は与えられる側にとどても、もちろん感謝なのですが、それは単に助かった儲けたという程度のことだけでなく、「神への感謝を生み出す」とパウロは言っています。それは「このわざを証拠として、…神をあがめることでしょう。」となるように、与えた人々の信仰のすばらしさの証しとなるからです。

与えることにより、ささげることにより神様の恵みをいただき、神様への感謝を引き出し、神様があがめられるようにしたいものです。与える人には神様は「備えてふやして」くださいますから、さらに与えられてまた与えることができるようになります。それがクリスチヤンの経済活動であり、財務計画であり、健全財政なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主に扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

